



6/16 夏期農業改良共進会

- 6月定例会……………2～3P
- 一般質問……………4～9P
- 広報研究会・議員研修会……………10P
- 議会ダイアリー……………11P
- 自治功労表彰・編集後記……………12P

6月定例会

条例改正・補正予算など9議案を可決・同意

令和4年6月定例会は、6月3日に招集され8日間の会期で開催されました。

定例会に提出された議案は、町長提出9議案と報告5件で、いずれも慎重な審議が行われ、可決同意されました。

また、5名の議員による一般質問、町選挙管理委員及び補充員の選挙、請願及び陳情の審議を行い、6月9日に閉会しました。

議決結果 《6月定例会》

賛成=○ 反対=● 欠席=欠 除斥=除

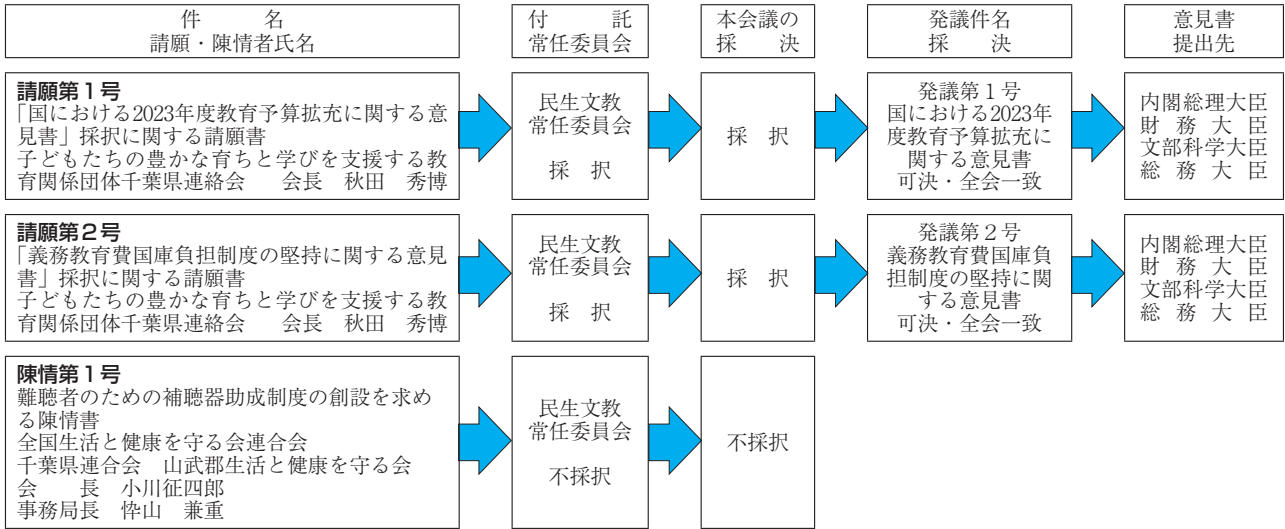
議案9件、報告5件のうち、賛否が分かれた案件は1件でした。議案名中の「横芝光町」と「～について」は、省略表示しています。

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			小倉弘業	森川貴恵	印東彦治	秋鹿幹夫	宮園博香	山崎義貞	越川一雄	庄内賢一	鈴木和彦	鈴木輝男	川島仁	川島富士子	鈴木克征	鈴木唯夫	八角健一	川島勝美
議案第1号	専決処分の承認を求めること (税条例等の一部を改正する条例の制定)	原案可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	専決処分の承認を求めること (国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)	原案可決	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	介護保険条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和4年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和4年度東陽食肉センター特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	教育委員会教育長の任命 (貴川 睦子氏)	同意	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	教育委員会委員の任命 (椎名 義明氏)	同意	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	令和3年度一般会計継続費繰越報告																	
報告第2号	令和3年度一般会計繰越明許費繰越報告																	
報告第3号	令和3年度一般会計事故繰越し繰越報告																	
報告第4号	令和3年度農業集落排水事業特別会計継続費繰越報告																	
報告第5号	令和3年度東陽食肉センター特別会計事故繰越し繰越報告																	

注)議長は議進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議裁決」として表明します。

請願 2 件を採択・陳情 1 件を不採択

6 月定例会に提出された請願 2 件と陳情 1 件は、民生文教常任委員会へ付託され、審査されました。結果は下記のとおりで、採択された意見書 2 件は議長名で各関係機関へ提出しました。



賛成=○ 反対=● 欠席=欠 除斥=除

議案番号	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		小倉弘業	森川貴恵	印東彦治	秋鹿幹夫	宮園博香	山崎義貞	越川一雄	庄内賢一	鈴木和彦	鈴木輝男	川島 仁	川島富子	鈴木克征	鈴木唯夫	八角健一	川島勝美
発議第 1 号	原案可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 2 号	原案可決	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長裁決」として表明します。

＜請願・陳情の提出方法＞

町民の皆さんの意見や要望を町政に反映させるために、請願や陳情という方法があります。

請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

◎提出方法 請願（陳情）は、議会の開会、閉会中を問わずいつでも提出することができます。ただし、提出については、持参を原則といたします。

◎提出先 請願（陳情）は、議長あてに議会事務局へ提出してください。

◎その他 請願者（陳情者）は、住所を記載し、署名または記名押印をしてください。法人などの場合は、名称及び所在地を記載、代表者の署名または記名押印が必要です。（鉛筆書きは不可）



横芝光町選挙管理委員 及び補充員選挙

選挙管理委員会は、公平な選挙を行うために、地方自治第 181 条に基づき都道府県や市町村に設置されている自治体の長から独立した執行機関で、委員 4 名及び委員が欠けた場合に備え委員補充員 4 名で構成されています。選挙管理委員及び補充員は、議会で選挙により選出され任期は 4 年となります。委員及び補充員の任期が 6 月 20 日で満了となることから、6 月定例会で議長の指名推選により選挙が行われ委員 4 名及び補充員 4 名が選出されました。

なお、新しい選挙管理委員及び補充員は次の方々です。

◎選挙管理委員

藤田 雅夫（東町）
海保 教之（宮前町）
齊藤 修（橋場）
小川 義則（宝米）

◎補充員

林 正信（入）
鈴木 博道（小川台）
伊藤 勤（中台）
小堀 正博（本町）

《敬称略》

横芝光町の ここが聞きたい！

6月定例会
一般質問

～ 5名の議員が登壇し、町政を問う～

登壇者と通告内容

小倉 弘業 議員・・・P5

- ◆保育施設の安全管理について
- ◆地域防災計画について
- ◆通学路の一斉点検について

宮菌 博香 議員・・・P7

- ◆ふれあい坂田池公園野球場について
- ◆行財政運営について
- ◆特別職の報酬等の額の改定について
- ◆公共施設の今後の見通しについて

森川 貴恵 議員・・・P6

- ◆教育関係について
- ◆町長の政治姿勢について

川島富士子 議員・・・P8

- ◆教育行政について
- ◆活力あるまちづくりについて
- ◆健康こども行政について



山崎 義貞 議員・・・P9

- ◆町長の政治姿勢について
- ◆保育事業について
- ◆福祉政策について

① 一般質問とは

町の行政全般について、執行機関に疑問点を問い見解を求めるものです。議会だよりに掲載される内容は紙面の都合上要点のみとなっています。掲載できなかった質問は、町ホームページからご覧いただけますので、ホームページ内の「議会会議録」よりご覧ください。

なお、会議録の掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。現在、令和4年3月議会定例会までご覧いただけます。



各地で起きた 保育園での事故を受け安全点検を

この機会に早速対応したい



小倉 弘 業 議員

一般質問



福岡県では園児が送迎バス置き去り事故、広島市でも保育中に園児行方不明事故が起きたが、保育施設の安全管理への指導は。



事故等防止のためには、日常的な安全点検や、安全に関する指導等を重ねていくことが重要になります。保育士の安全管理に対する意識向上を図るとともに、事故等の未然防止及び事故発生後の的確な対処への備えに努めております。



町では、関係法令に基づき県と各保育施設に一般指導監査、また、運営等に問題を有する施設を対象とする特別指導監査を行っているが、どのような不備があったのか。



令和3年度の保育所一般指導監査の結果では、文書を



福岡県の園児バス置き去り事故や、広島市での保育中の園児行方不明事故など、同じ事故を繰り返さないためにも保育所の安全点検を。



子供たちの安全を普段から注意していくのは、極めて重要な任務の一つであると認識しています。子供たちの安全・安心を向上させるために、やり過ぎは無いと思っておりますので、各事業所・保育所等々に協議を重ね、安全の向上に努め、この機会に早速対応したいと考えており

ます。



今年度より改定された、地域防災計画が活用されているが、各団体への周知・共有・連携は。



横芝光町防災会議条例第3条第5項の規定により、国・県・関係機関、匝瑳市横芝光町消防組合、横芝光町消防団などの関係機関に、地域防災計画について審議いただいたところでありますので、各団体との共有は図られているものと考えております。また、関係機関を含め、61か所へ配付し周知を行い、今後、



▲町災害対策本部



様々な災害に備え、引き続き、各関係機関との連携を図っていきたいと考えております。



防災計画の中には、避難行動要支援者や要配慮者の皆様のために、民生委員の方々にご協力いただくことが多く記載されているが、どのように要請や指導を行っているか。



令和3年、災害対策基本法の改定により、個別避難計画の策定が努力義務化となったが、当町では策定されているか。



個別避難計画の作成を進めている先進自治体の事例を参考に、民生委員児童委員や社会福祉協議会、自主防災組織や自治会、消防機関や福祉事業所等と連携を図り、実効性のある避難支援がされるよう、要支援者ごとの実情に応じた個別避難計画の策定を進めてまいります。

「全国学力・学習状況調査」 結果をどのように活用し、 学力向上に役立ててきたのか



森川 貴恵 議員

「全国学力・

学習状況調査」

Q 当町における実施状況は

A 4月19日、小学校6年生及び中学校3年生全員に、国語、算数・数学、理科、生徒質問紙調査を実施しました。文部科学省から7月下旬に結果が届き、8月中旬に千葉県総合教育センターによる分析ツールが配布されるのを受けて詳細な分析を進める予定です。

Q 現在までの結果を踏まえ現状をどうとらえているか

A 国語、算数・数学ともに、選択式より記

述式に課題が多く、基礎的・基本的な知識や技能の定着よりも発展や応用の力の定着を図っていかねければならないと考えています。

Q 結果をどのように活用し、役立ててきたか。

A 経年変化や誤答の分析をし、授業や指導の改善に役立てるようにしています。また、「生活習慣・学習環境」と学力の相関関係を確認すると、家庭での学習時間とスマートフォン等によるアプリやSNS、携帯ゲーム機器に接する時間は反比例することが読み取れます。そこで学習指導だけでなく、児童生徒自身

に生活の見直しや保護者の協力を図り、学習習慣の確立にも支援するようにしています。

Q 教育委員会として学校にどのような支援を行っているのか

A 年2回、学力向上推進委員会を開き、各校の取り組みを共有し、小中連携が図られるように努めています。また、「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒及び各家庭に向けて発達段階に応じたアドバイスをしています。更に、一人一台端末をより効果的に活用するために、ICT推進委員会を設置し、千葉県総合教育センターのかり

キュラム開発部と協力し、町内小中学校で研究を推進しています。

Q 郷土愛を育む教育の充実のよう認識しているか

A 地域学習の大切さを認識しており、教科の指導だけでなく、学校生活のあらゆる場面で、様々な経験を積む機会を設け、多くの感動を持たせることが、郷土への愛着につながると考えます。

Q 学校での実施状況と今後の取り組みは

A 小学校では、学校ごとと地域とのつながりを作り、地域の人材や産

業、自然の特色を生かした取り組みを行っています。中学校では、地域人材と交流する機会を設け、地域の産業に目を向ける機会を設定しています。

Q 食育についての現状は

A 令和4年度から令和8年度を期間とした、「第4次横芝光町地産地消・食育推進計画」を策定し推進に取り組んでいます。学校では、保護者や地域の方々の協力のもと野菜の栽培、収穫体験や給食センター栄養士による給食時間を利用した栄養指導などを実施してきました。





宮 蘭 博 香 議員

今は絶対に行ってはならない 町3役と議会議員の報酬改定

議会内のコンセンサスが図れれば 提案させていただく



町3役の報酬改定については、4月28日に開催された議会議員全員協議会で

町当局から改定理由の説明がありました。特別職等報酬審議会から答申された改定時期については、「新型コロナウイルス感染症の影響により、所得が減少し苦境を強いられている町民もいる状況で踏まえ、今後の新型コロナウイルス感染症の収束及び景気の状態を踏まえ、慎重に検討されたい。」ということでした。また、昨年の11月に開催された臨時会において、人事院勧告並びに千葉県人事委員会による職員の給与等に関する報告及び勧告において、民間のポ

ーナス支給割合との均衡を図るために職員の生活給である一般職の期末手当を減額したところでもありません。このよ

A 特別職の報酬等の額は、平成18年の合併

うな中で、令和4年度中に増額の改正条例案を提出する予定ということでありま

す。また、議会議員の報酬改定についても議会改革特別委員会が設置され、協議がなされた数値が示されました。特別委員会の結論としては、現在の歳費を超えないということが大前提で、報酬額と政務活動費及び議員定数（2名減員）の3点セットで示されました。しかしながら、議会議員全員協議会でその案が否決されました。そのようなことから、議員については報酬額だけ改正することになりかねません。現況下においては、今期の町長の任期が終了するまでは、また、議会議員の報酬等についても今任期中には、絶対に改正してはならないものと思いますが、町長のお考えを伺います。

時に協議し、現行の額となつて以来一度も見直しが行われておらず、県内の町村や全国の同規模である自治体から見ると比較的低額でした。そこで、議会議員の報酬の見直しに併せて同時に審議していただくことが、適正な金額を考える上でも効率的であり公正であると考え、諮問させていただきました。今後は議会内で報酬の改定にコンセンサスが取れれば、議案を出したいと考えております。いずれにいたしましても、新型コロナウイルス感染症の収束や景気の回復状況を判断し、適切な時期に提案させていただきます。ものと考えております。

※その他の質問

ふれあい坂田池公園野球場について

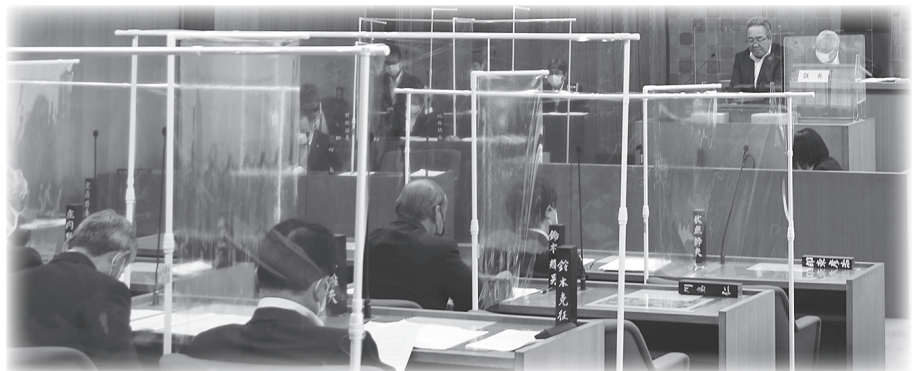
- ・照明灯の支柱及び照明灯について
- ・暗渠排水整備について

行財政運営について

- ・令和3年度の一般会計決算見込みについて
- ・決算見込みによる次年度繰越金の具体的な対応について

公共施設の今後の見通しについて

- ・上堺保育所について
- ・食肉センターについて



▲審議が行われた6月議会定例会

保育所や幼稚園等での給食費完全無償化を

前向きに検討



川島 富士子 議員

Q 保育所や幼稚園等での給食費完全無償化

を

A 今後、町は、第2期横芝光町子ども・子育て支援事業計画に掲げました基本理念、「すこやか

に育（そだ）て 親子を育（はぐく）むまち・横芝光」のもと、子育て支援施策の一層の充実と保育所及び幼稚園等をご利用いただく保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的として、保育所や幼稚園等での給食費無償化を、前向きに検討します。

Q 環境教育の推進およびカーボンニュートラル達成に向けた学校施設

A 学校における環境教育は、地球温暖化など様々な課題が深刻化する

中、環境の保全に関する理解と関心を深めるため児童生徒の発達段階に応じ学習を行うっており、「総合的な学習の時間」や「校外学習」等、体験的な活動等を通じ、児童生徒が自ら感じ、見つけ、理解できるよう努め、ICT機器も効果的に活用しております。学校施設

Q 物価高騰等に対する地方創生臨時交付金の活用を

A 町は、長引くコロナ禍により地域経済の活性化を図る必要があること、現在の物価高騰により

と、現在の物価高騰により広く各世帯に影響が及んでいることから、町内全世帯を対象とした町内協力店での活用できる商品券発行事業を計画させていただきました。商品券の作成は、偽造防止対策を施すため業務委託の予定で、業者の決定から商品券の作成完了までに概ね3ヶ月程度の期間が必要と見込み、9月上旬までには商品券を作成し、案内文書とともに簡易書留郵便により9月末日までに配布

と考えております。なお、商品券の利用期間は10月から12月末までの計画です。



Q 带状疱疹ワクチン接種の助成は

A 带状疱疹は予防可能であり、ワクチン

には弱毒化生带状疱疹ワクチン、いわゆる「生ワクチン」と乾燥組み換え带状疱疹

疹ワクチン、いわゆる「不活化ワクチン」の2種類があり、接種することにより最大の合併症である痛みが軽くなるため、生活の質の改善に期待ができます。带状疱疹予防ワクチン助成金の導入は、調査研究します。

Q 3歳児健診での弱視発見屈折検査に伴う機器の導入（購入）は

A 弱視の早期発見及び早期治療の観点から、専門的な知見及び近隣の状況を収集し、「屈折検査機器」の導入は、今後

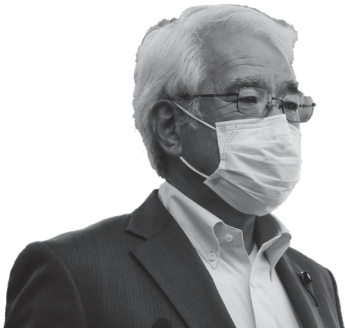
検討します。

※その他の質問

・小中学校の水道蛇口の実情とレバー化について

・国の16ヶ月予算に対する本町の取り組み状況について

・「地方公共団体情報システム標準化」に対する本町の取り組み状況について



山崎 義貞 議員

核兵器禁止条約批准を 国に働きかけよ

町単独での働きかけは 考えていない



1月22日に発効した核兵器禁止条約は、被爆者や核実験被害者の長年の願いが結実したものでした。核兵器廃絶が進まない核不拡散条約を廃展させたものが禁止条約です。核兵器の使用や「使用することの威嚇」を禁止し、核兵器の全面的な廃絶を展望しています。核兵器使用の現実的リスクが高まりつつある国際状況下で、「壊滅的で非人道的な結末」を回避するため、全世界に核兵器禁止条約を普遍化しなければならぬと考えるが。



当町では「非核平和宣言」を行うとともに、日本非核平和宣言自治体協議会に加盟し、核被爆国民として町民一丸となり、非核三原則を堅持し、全ての核兵器が廃絶される日が来ることを希

求しており、核兵器禁止条約は大変重要だと考えております。条約批准の国への働きかけについては、国民の総意として国が決するものと考えているので町単独での働きかけは考えておりません。



紙オムツの保護者持ち帰りは、千葉県の公立保育園では2〜3割となっています。コロナウイルス感染症対策など保育所で処分できるものについては済み紙オムツを処分することは感染を拡大させない基本と考えますが。



過去に保護者会に諮って議論した経緯があり、便を家庭で確認することで健康チェックができることや、使用済みオムツの減少で排泄の自立を実感できることのほか、医療機関を受診して医師に見せる場合等があることから持ち帰りに至った経緯があり、現在もその対応を続けてい

る状況です。保護者の意識変化等を見極めながら対応したいと考えております。



65歳以上の高齢者の半数は加齢性の難聴と推定されています。それを力バーする補聴器の購入費は高く、「高額な補聴器購入に補助をしてほしい」との声に応え、自治体独自に購入費補助制度が広がっています。それは「難聴になると認知症のリスクが高くなる」からで、難聴は認知症要因の一つと厚生省からも発表されました。補聴器購入の補助制度を求めます。

現時点におきましては、高齢者を含め18歳以上の身体障害者手帳の対象とならない、軽度又は中等度難聴者を対象とした助成制度の創設については考えておりませんが、加齢性難聴は生活習慣の改善により、予防や進行を遅らせる効果があること等から、健康こども課と連携しながら加齢性難聴の予防方法等の普及啓発に努めてまいります。

深刻化する高齢者のゴミ出し支援制度についての考えは



支援の重要性は高いと考えます。生活ゴミ出し支援として有効な手法について、先進事例の調査研究を進め、より有効な対応について検討してまいります。

支援の重要性は高いと考えます。生活ゴミ出し支援として有効な手法について、先進事例の調査研究を進め、より有効な対応について検討してまいります。



～市町村議会広報研究会～

議会とのつながりが実感できる紙面づくり

7月4日に千葉県自治会館で、令和4年度市町村議会広報研究会が開催されました。

当議会からは、議長、副議長、広報委員4名、事務局が参加しました。

講師は、埼玉県コミュニケーションセンター理事長で議会広報サポーターの芳野敏明氏、「住民に読まれ、伝わる 議会の存在感を高める 議会広報の基本と編集」がテーマのお話でした。議会広報は、住民・読者の関心・ニーズに応えることが企画編集の基本であり、住民が議会情報を「知る」「理解する」、さらに「参加・行動」を期待できるよう情報共有を確実にするコミュニケーション・ツールであることから、議会と町民の一体化、



住民の声を登場させることが大切であるということでした。

この研究会で学んだことを今後に関し、当町の議会だよりも一層読みやすく、町民の皆様のご意見・ご要望を集約し、興味関心を喚起、議会とのつながりが実感できるような紙面づくりに努めていきたいと思っております。

～山武郡市議会議員研修会～

地域アイデンティティを守り育て発信することが大切

7月13日に山武郡市議会議員研修会が、のぎくプラザで開催されました。最初に、自治功労者10名の表彰（議員在職10年：当町は該当者なし）と2名に感謝状が贈呈されました。その後、龍谷大学教授の服部圭郎氏による「人口縮小におけるまちづくり」と題した講演が行われました。内容としては、①人口減少下、合計特殊出生率を高くすることは、人口減少の解決にはならない。②人口減少への有効な対策は「転入者を増やす」と「転出者を減らすこと」③「社会増」に成功している自治体をみると、大都市圏では必ずしもなく、地方部でもある。また、人口規模が1万人以下の自治体でもうまくいっ



ているところがある。④人口減少が激しくても社会減の割合が相対的に低いところは、しっかりと地域経営をすることで知られている自治体が多いということでした。すなわち転入を増やし、転出を減らす戦略としては、地域アイデンティティ（個性や特徴）を守り育て、発信することが大切だということでした。

議会を傍聴しませんか

9月定例会は9月上旬から開催する予定です。議会開会中は、議会を傍聴することができますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、傍聴人数を制限させていただいておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、9月定例会の日程等詳細については、決定次第、防災行政無線及び町ホームページでお知らせいたします。

《傍聴席での主な注意事項》

- ・電子機器（携帯電話・カメラ等）は使用できません。
- ・録音機や拡声器類を携帯した方、酒気帯び等の方は入場できません。
- ・飲食や喫煙はできません。
- ・私語、談話又は拍手をしたり、みだりに席を離れることはできません。

政務活動費の収支報告状況をホームページで公開しています

町議会では、町民の皆様に開かれた議会を目指し、令和2年度分から「政務活動費収支一覧表」を町ホームページで公開しています。

※地方自治法第100条第14項から第16項までの規定により、町議会議員が行う調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、政務活動費1人当たり年額24万円を申請により交付しています。なお、交付された政務活動費に残額がある場合は、これを返還することとなっています。



議会ダイアリー

5月

- 17日・成田空港周辺市町議会連絡協議会役員会及び講演会
- 18日・山武郡市議会議長会臨時総会
- 19日・美しい木戸川を守る会定期総会
- 20日・例月出納検査
- 21日・東陽食肉センター獣魂祭
- 23日・学校適正配置等検討委員会
- ・山武地域医療協議会総会
- 25日・商工会第16回通常総代会
- 26日・議会運営委員会
- ・第1回千葉県町村議会議長会定例会
- 28日・航空機騒音対策協議会総会
- 30日・町村議会議長・副議長研修会
- 31日・議会議員全員協議会

7月

- 20日・芝山鉄道延伸連絡協議会
- 21日・例月出納検査
- 24日・都市計画審議会
- 27日・地域公共交通会議
- 28日・第1回成田国際空港騒音対策委員会山武・横芝地区部会
- 29日・山武郡市環境衛生組合議会議員全員協議会及び視察研修会
- 30日・介護保険運営協議会
- 4日・市町村議会広報研究会
- 7日・匝瑳市ほか2町環境衛生組合決算監査及び例月出納検査
- ・まち・ひと・しごと創生会議
- 8日・学校適正配置等検討委員会
- 13日・山武郡市議会議員研修会
- 14日・「ひと」分科会
- ・広報委員会
- 16日・海水浴場安全祈願祭
- 20日・例月出納検査
- ・広報委員会
- 21日・山武郡市議会議長会視察研修会
- 22日・「まち」分科会
- ・「しごと」分科会
- 28日・民生委員児童委員推薦会

6月

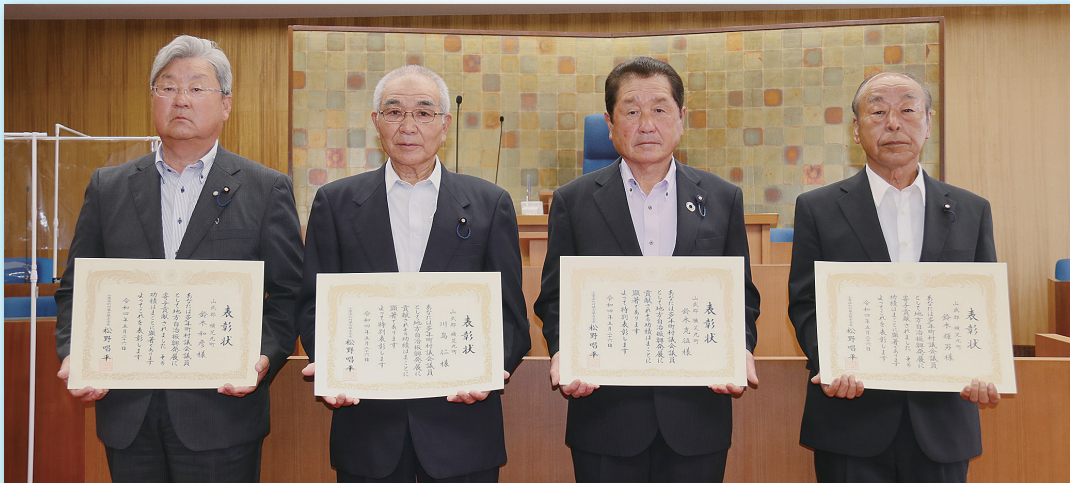
- 3日・6月議会定例会
- （1日目）
- 9日・6月議会定例会
- （2日目）
- ・議会議員全員協議会
- 13日・広報委員会
- 16日・夏期観光安全対策会議
- ・安全会議
- 28日・民生委員児童委員推薦会

受賞おめでとうございます

～千葉県町村議会議長会自治功労者表彰～

5月26日に開催された、千葉県町村議会議長会定例会において、町議会議員として18年以上在職し、地方自治に特に功労があったとして、川島 仁議長と鈴木克征議員が表彰されました。

また、町議会議員として11年以上在職し、地方自治に功労があったとして、鈴木輝男議員と鈴木和彦議員が表彰されました。



▲左から、鈴木和彦議員、川島仁議長、鈴木克征議員、鈴木輝男議員

編集後記

季夏の候、町民の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

減少傾向にあった新型コロナウイルス感染症も7月に入り、再び新規感染者数が増加し、予断を許さない状況となっております。感染の拡大を防ぐため、引き続き感染予防対策に努めて頂きますようお願い致します。

また、コロナ禍とウクライナ危機により原油価格が高騰し、物価の上昇が止まらず、家計への影響が心配されます。一日も早い感染症の終息と戦争が終わり、平穏無事の生活に戻る事を願います。

広報委員会では、編集後記にて、皆様へご挨拶申し上げておりますが、是非、皆様の忌憚のないご意見を、返信頂ければ幸いです。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、体調を崩されませんよう、お気をつけてお過ごしください。

広報委員会

委員長 川島 仁

副委員長 越川 一雄

委員 川島富士子

宮園 博香

秋鹿 幹夫

印東 彦治

森川 貴恵

小倉 弘業